



## 福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	福島第一原子力発電所事故による福島県の放射性物質の汚染状況、2020年 - 本宮市・蓬田岳・高柴山
Alternative_Title	Contamination of radioactive materials in Fukushima Prefecture due to the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, 2020 - Motomiya city, Mt. Yomogita, Mt. Takashiba
Author(s)	千葉 茂樹(福島自然環境研究室) Chiba, Shigeki(Fukushima Natural Environment Lab.)
Citation	第10回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.81 The 10th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	ポスターセッション3：生活環境の回復
Text Version	Publisher
URL	<a href="https://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/230632">https://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/230632</a>
Right	© 2021 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第10回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



## 福島第一原発事故による福島県の放射性物質の汚染状況、2020年

## 一本宮市・蓬田岳・高柴山一

千葉茂樹 福島自然環境研究室

2011年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、直後に福島第一原子力発電所事故が発生した。3月15日、著者の居住地であった福島市渡利字岩崎町は、「放射性物質の汚染地域」に激変した。著者は、居住地の環境変化や著者自身の身体的異変を感じ、悪夢のような現状を後世に残す必要を痛切に感じ、福島県内各地の線量率の測定を開始した。

本報告は、2020年の福島県内の本宮市中心部、阿武隈山系の蓬田岳・高柴山の空間線量率（地上1m）である。本報告地点の空間線量率の測定は、本宮市中心部が2012年から、蓬田岳は2011年から継続的に行っている。高柴山については、2013年に調査を行い途中中断したが2019年から再開した。

本宮市中心部の調査は2020年10月15・16・21・22・26・28・29・30、11月04・05日の10日間、測定器はTCS-171、測定位置は地上1m、測定地点は2757である。空間線量率（地上1m）は0.06～1.12 $\mu$ Sv/h、平均（放射線量率の合算/調査地点数）は0.203 $\mu$ Sv/hである。0.20 $\mu$ Sv/h未満が1720地点（62.39%）、0.50 $\mu$ Sv/h以上が37地点（1.34%）である。1 $\mu$ Sv/h以上の地点は、1.12 $\mu$ Sv/h、1.12 $\mu$ Sv/hの2点である。公的な除染は、2015年と2016年の著者の調査の間に実施された。

蓬田岳の調査は2020年10月20日、測定器はGammaRAE IIRである。GammaRAE IIRは、実測（概ね1 $\mu$ Sv/h以下）においてTCS-171と同等の値を表示する。測定は131地点、空間放射線量率（地上1m）は0.09～1.00 $\mu$ Sv/h、平均は0.27 $\mu$ Sv/hである。なお、蓬田岳は、福島県（2018）の汚染状況重点調査地域（除染実施区域）に含まれない。

高柴山の調査は2020年10月27日、測定器は「日立TCS-171」である。測定は204地点、空間放射線量率（地上1m）は0.06～0.56 $\mu$ Sv/h、平均は0.19 $\mu$ Sv/hである。0.35 $\mu$ Sv/h以上の地点が3地点である。高柴山も、福島県（2018）の汚染状況重点調査地域（除染実施区域）に含まれない。なお、公開されている地図には、林道・登山道の記載がないので、著者自身が道の簡易測量を行いながら調査をしている（調査の度に微調整）。また、高い放射線を出す「楯状高放射線土」（下に記載の著者の論文で確認されたい）が見られる。

著者の論文・ネット配信ニュースの全ては、京都大学名誉教授吉田英生氏HP（<http://www.wattandedison.com/Chiba2.html>）に掲載されている。参照いただきたい。

Contamination of radioactive materials in Fukushima Prefecture due to the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, 2020

—Motomiya City, Mt. Yomogita, Mt. Takashiba—

Shigeki Chiba Fukushima Natural Environment Laboratory

発表  
目次口頭  
発表ポスター  
発表企画  
セッション